

## 『わかめ羊』の飼育を通じた新しい循環型農業の確立へ



南三陸町は三陸海岸南部に位置し水産養殖業が特に盛んな町。その水産資源である「わかめ」を用いて羊の飼育に取り組んでいるのがNPO法人さとうみファーム代表の金藤克也さん（55）だ。

金藤さんは、東日本大震災後、支援活動のため神奈川県から南三陸町に幾度となく訪れ、この町には雇用と収益に繋がる事業が必要不可欠と思案し、『羊の飼育』を開始した。

町や地域住民に対する熱い思いもあり移住も決意。飼料は宮城大学の協力のもと、乳酸菌やミネラル、食物繊維が豊富な地元産わかめ配合の発酵飼料を完成させた。飼育の成果として、羊肉の旨み成分であるイノシン酸が6倍、オレイン酸も2割増加など、良好な研究・分析結果も得られており、今では美味しさも保証された希少な国産羊肉『わかめ羊』として都内の高級レストランでも取り扱われている。

今後は、当町の山間部に位置する入谷地区の牧場に、岩手県一関市から羊200頭余りの引っ越しを行い、羊肉・羊毛等の流通ルート拡大を計画している。新たな循環型農業の確立を目指す金藤さんの更なる活躍に期待するばかりである。

